

# 「大きくなって」願い込め

茅野市の森  
市民の森

## 広葉樹の里山へ植樹



茅野市米沢の市民の森（吉田山）で28日、育林祭があった。市民の森を創る会と  
同市が共催して10回目。市民や、市内の企業などから約60人が参加した。コナラや  
カエデの苗木計85本を植え、広葉樹の里山づくりに取り組んだ。（今井則幸）

植樹は市民の森中央部にある市民の池の脇で行った。ニセアカシアを引き抜き約600平方メートルを整備し、鹿よけネットで囲んだ。

参加者は植え方の説明を受けたあと、コナラ70本とカエデ15本を植えた。コナラは2016年4月の森開きでドングリをプランターに植え、米沢小学校を中心に育てていた。

市内の企業に勤める守屋博勝さん（38）は岡谷市長地柴宮は子ども3人と参加。長男の長地小4年の莉杜君（10）は「立派に大きくなってほしい」と笑顔だった。

開会式で創る会の中野昭彦会長は「木は何年もかかって成長する。ある程度大きくなるまで面倒をみてやらなければならぬ」と話した。柳平千代一市長は「木を育てることを40年、50年と市民と子どもたちが引き継いでいってもらえれば」と述べた。

カエデやコナラを植える子どもたち

茅野市の市民の森